



安倍政権の「働き方」改革法案強行を糾弾 JR川崎駅前での定例宣伝行動を実施！

建交労神奈川県南支部執行委員会は、5月のさわやかな天候の下で定例の宣伝・署名行動を5月26日(土)にJR川崎駅前の地下街「アゼリア」入口でおこないました。

この日は、安倍政権が過労死や過労自殺を容認する悪法(「残業罪ゼロ法案」や「労働時間規制法案」)、いわゆる「働かせ方改革」法案を野党共闘

や多数の国民が反対するなか、衆議院の厚生労働委員会で強行採決した翌日でした。

厚生労働省による膨大な量の労働実態データのねつ造が発覚し、根拠のかけらもない法案を数の力でゴリ押しするものでした。



署名の呼びかけに応じる川崎市民

したがって宣伝行動では、政府与党の暴挙を厳しく糾弾するとともに、安倍政権の退陣を求める労働組合運動(建交労)への参加の呼びかけと、安倍9条改憲NO!(300万署名)、核兵器廃絶を求める「被爆者

署名の呼びかけに応じる川崎市民 国際署名」への協力を訴え、準備した300個余りのティッシュ付ビラはたちまち配布を完了し、その後は宣伝物なしでハンドマイクでの訴えと署名活動をつづけました。この日に集約した署名は、9条改憲NO!が10筆、核兵器廃絶を求める国際署名は6筆でした。

宣伝行動の参加者は、支部執行委員10名のうち佐藤章委員長、斎藤健人副委員長、大島信雄書記長、金崎美佐夫書記次長ら8人です。次回の行動は6月23日(土)午前10時30分頃から同じJR川崎駅前で行います。各分会は、この宣伝行動を全組合員参加の運動と位置付け、積極的な参加をはかるようにしてください。



ハンドマイクで訴える佐藤章執行委員長



宣伝行動に参加した県南支部の執行委員

公害・環境、健康、まちづくりフェスタに支部から2人が協力！

5月27日(日)には、川崎市内の約60団体による地球温暖化、改憲、労働問題などをテーマにした“第24回公害・環境、健康、まちづくりフェスタ”がJR武蔵溝ノ口駅ペデストリアンデッキで開催され、その早朝からの準備に大島書記長と赤羽組合員が参加して汗を流しました。